

おはこぎ 通信 (箱崎地区版)

【発行】NPO法人 釜石東部漁協管内復興市民会議
(通称 おはこぎ市民会議)
〒026-0303 釜石市箱崎町10-9
釜石東部漁業協同組合内
TEL:090-1561-1166
MAIL:shimokawa_shota@kamaentai.org

【おはこぎ市民会議とは】
東部漁協管内の8地区(両石・根浜・箱崎・片岸・白浜・室浜・桑の浜・仮宿)が連携して「100年先を見据えた安心安全な復興まちづくり」「持続可能な地域のまちづくり」を目的として設立されたNPOです。

【釜援隊とは】
復興支援員として釜石の各地に派遣され、地域の皆様と共にまちづくりに取り組んでいます。

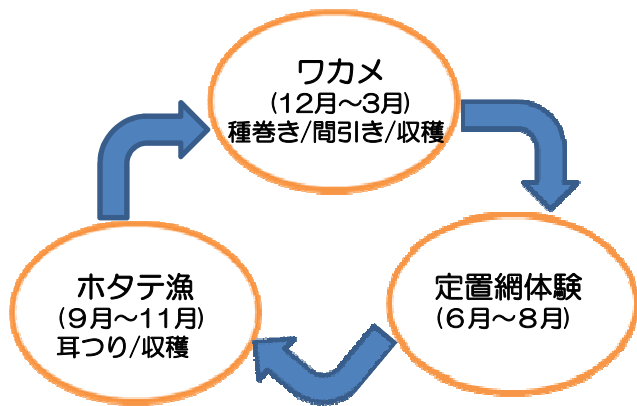
おはこぎ通信(箱崎地区版)を創刊しました!

初めまして、下川翔太(しもかわ しょうた)と申します。今年4月から釜援隊として“おはこぎ市民会議”に派遣されており、箱崎半島を中心に活動しています。三重県出身、前職は銀行員の25歳・独身です(笑)

箱崎の皆さんに“おはこぎ市民会議”の活動や、それ以外にも復興にかかる最新情報や地域のイベントのご案内等をお知らせするため、「おはこぎ通信～箱崎地区版」を創刊しました。これからたくさんの「はこぎのいま」を発信していきたいと考えています。ぜひ目をお通しいただき、一言でも感想をいただければうれしいです。



うみやまツアー～わかめの種巻き編 大好評!



おはこぎ市民会議第5WG(ワーキンググループ)が主に進めているのは“漁業の学舎(うみのがっこう)プロジェクト”。この取り組みが最終的にめざすところは「漁業の担い手と後継者の育成」。そして、その入り口は「漁業を知って、楽しんで、そして味わってもらうこと」。そのため、現在季節ごとに「ワカメ養殖」「定置網」「ホタテ漁」をベースとした漁業体験ツアーを企画しています!

12月8日午前、ボランティアツアー第1弾が三陸ひとつなぎ自然学校の協力のもと開催され、総勢11名が参加しました!

今回の作業内容は“ワカメの種巻き”。現役漁師の荒屋正明さん、植田有功さんの両名が「先生」となり、海上での作業となりました。

参加者からは「このワカメがどう育っていくのか、早く見たい」といった声が聞かれました。また、港に戻ってからは一夜干しのスルメイカを炭火でご馳走になり「何で醤油を垂らしたただけなのに、こんな深い味わいがあるんだろう」との驚きの声が続出! 植田さんが語るイカ豆知識にも興味深々の様子でした。

今後は、1月の間引き作業、3月の収穫作業と続きます!



《おはこざき市民会議の動き》

おはこざき市民会議には5つのWG（ワーキンググループ）が作られ、それぞれのリーダーのもとで着実な活動が行われています。それぞれWGの現状や課題は

第1WG（復興・減災まちづくり・人づくり）
 専門家を交えながら、安心安全なまちづくりをめざして活動をすすめています！
 年明けには高台造成工事の視察も計画中です。

第2WG（新産業・雇用創出）
 新たな産業や資源の再発見のため活動中！第5WGとして独立した「漁業の学舎PJ」も元々はこのWGでの議論が土台になって生まれたものです。

第3WG（防災教育・記録伝承事業）
 震災の記録を後世に伝えるため、文章・映像をはじめ、さまざまな形で記録活動をすすめています。

第4WG（観光・特産品開発販売促進）
 箱崎半島は資源の宝庫！漁協の女性部のみなさんを中心に郷土料理の魅力の再発見と商品化に向けた研究をすすめています！

※ 第5WG（漁業の学舎）については表面の記事を参照ください

〔復興最新情報〕 「箱崎地区」住宅再建意向調査結果 速報

8月から9月に実施された「住宅再建意向調査」の調査結果(箱崎地区回収率は97.5%)。前年の意向調査に比べて、自力再建をめざす方の割合が大きく増えたことがひとつの特徴です。

この意向調査をもとに復興公営住宅等の戸数や住宅の配置等が固まり、新たな箱崎集落の「設計図」が示されることになると思われます。

＜今後も箱崎に住みたいと回答した方の内訳＞

【調査結果概要】

全回答数193通

1) 自力再建 (修理含む)	131
うち箱崎で	74
箱崎以外の市内で	22
釜石市外で	13
場所は未定	21
その他	1
2) 公営住宅	62
うち箱崎の公営住宅	27
東部地区	21
鶴住居地区	10
その他地区	4

集落名	種別	戸数	集落名	種別	戸数
上前	公営	5	馬場前	公営	12
	再建	1		再建	12
前田	公営	1	横瀬前	公営	4
	再建	8		再建	6
野川前	公営	5	他地域から転入		
	再建	8			2

※上記表の「再建」は「市が用意した土地」に再建を希望される方の戸数です。このほか「自ら用意した土地」で再建を希望されている方が地区全体で28戸に上ります。

以上、いずれも市役所発表資料をもとに作成

〔ひと〕 佐々木大也さん(東大大学院修士2年)



箱崎をはじめとする地域の皆様の生活活性化と“にこにこバス”の活用をめざし、日々汗を流しています。

12月は箱崎C仮設に滞在し、活動をさせていただきました。1か月間お世話になりました。今後ともよろしくお願いいたします。

〔告知〕

2013年も残すところあと数日。

箱崎半島を中心に過ごした月日は、多くの皆さんの笑顔や暖かさに包まれ、私にとってたいへん充実した時間となりました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

下川

※こちらのスペースには皆様からの告知を募集しております！詳しくは下記まで
 MAIL:shimokawa_shota@kamaentai.org
 TEL:090-1561-1166